

仕掛けと概念 空間と時間の日仏比較建築論

このシンポジウムは、日仏両国の研究者が一堂に会して、日本とフランスの建築文化に見られる様々な建築的な仕掛けや現象と、その背後にある空間と時間に関わる基本的な概念について議論しようというものです。建築、都市、あるいは景観にかかわる様々な個々の事物を扱うだけではなく、そうした事物の建築的な現象の根本にあり、これら事物に形を与えている両文化のものの考え方にも眼を向けようと言うものです。言葉にはそれぞれの文化の厚さが現われています。具体的なもの、観察と歴史を通して言葉にアプローチすることにより、言葉は二つの文化の違いを浮彫りにしつつ、日仏両文化についての理解を深めてくれるはずです。シンポジウムは、「景観と領域」、「都市と境界」、「住むことの次元」、そしてより包括的なテーマである「時間の問題」という四つのテーマで、それぞれのテーマに特有の問題を考慮しつつ行われます。これらの四つのテーマを通して日仏の両文化の総体に迫る一つの機会になることが期待されています。

平成20年12月12日(金・9時～18時30分)
平成20年12月13日(土・9時30分～19時)

フランス人講演者

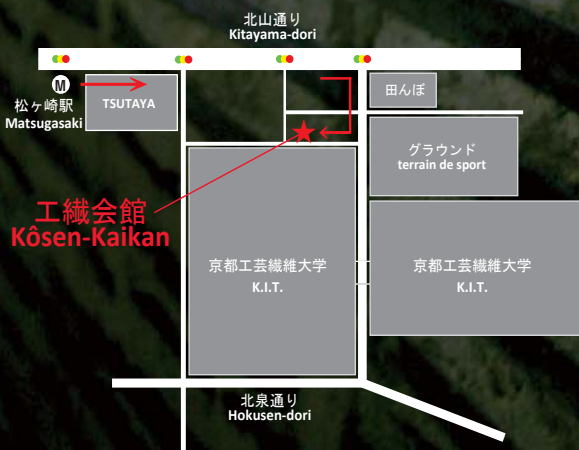
フィリップ・ボナン
ミュリル・ラディック
マルク・ブルディエ
ニコラ・フィエヴェ
アンヌ・ゴソ
ブノワ・ジャケ
コリーヌ・ティリー

フランス国立科学研究センター・研究ディレクター
サン＝テチエンヌ国立高等建築学校・講師
パリ・ラ・ヴィレット国立高等建築学校・教授
フランス国立高等研究院・教授
ボルドー第三大学・准教授
フランス極東学院・准教授
フランス文化省研究技官

日本人講演者

加藤邦男
三宅理一
西田雅嗣
阿部順子
千代章一郎
田路貴浩
土居義岳
中島智章
松本 裕

京都大学名誉教授
パリ国立工芸院・教授
京都工芸繊維大学大学院・准教授
椋山女学園大学・准教授
広島大学大学院・准教授
京都大学大学院・准教授
九州大学大学院・教授
工学院大学・准教授
大阪産業大学・講師



会場
京都工芸繊維大学 工織会館 1F 多目的室
(京都市左京区松ヶ崎御所海部町
京都工芸繊維大学北側)

入場・聴講無料(定員60名 先着順)
逐次通訳あり(講演は日本語とフランス語で行われます)

ジャパルシ HP <http://www.japarchi.archi.fr/>
京都工芸繊維大学 西田研究室 tel:075-724-7628

主催 Organisées par

JAPARCHI
(Réseau Franco-Japonais
du Ministère de la Culture et de la Communication)

ジャパルシ
フランス文化省日仏交流ネットワーク

共催 Co-organisées par



KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY SMART Project
KIT Good-Practice programme: science meets art
新たな工学的感性を養育プログラム
京都工芸繊維大学 特色のある大学教育支援プログラム (特色GP)



フランス国立科学研究所
CNRS/JSPS programme CHORUS



EGOLE FRANCAISE
D'EXTRÊME-ORIENT
フランス国立極東学院

後援 Avec le soutien de

在日フランス大使館
Ambassade de France au Japon



日仏交流 150周年



関西日仏学館
INSTITUT
FRANCO-JAPONAIS
DU KANSAI



nihon kenchiku gakkai-kinki shibu
日本建築学会近畿支部